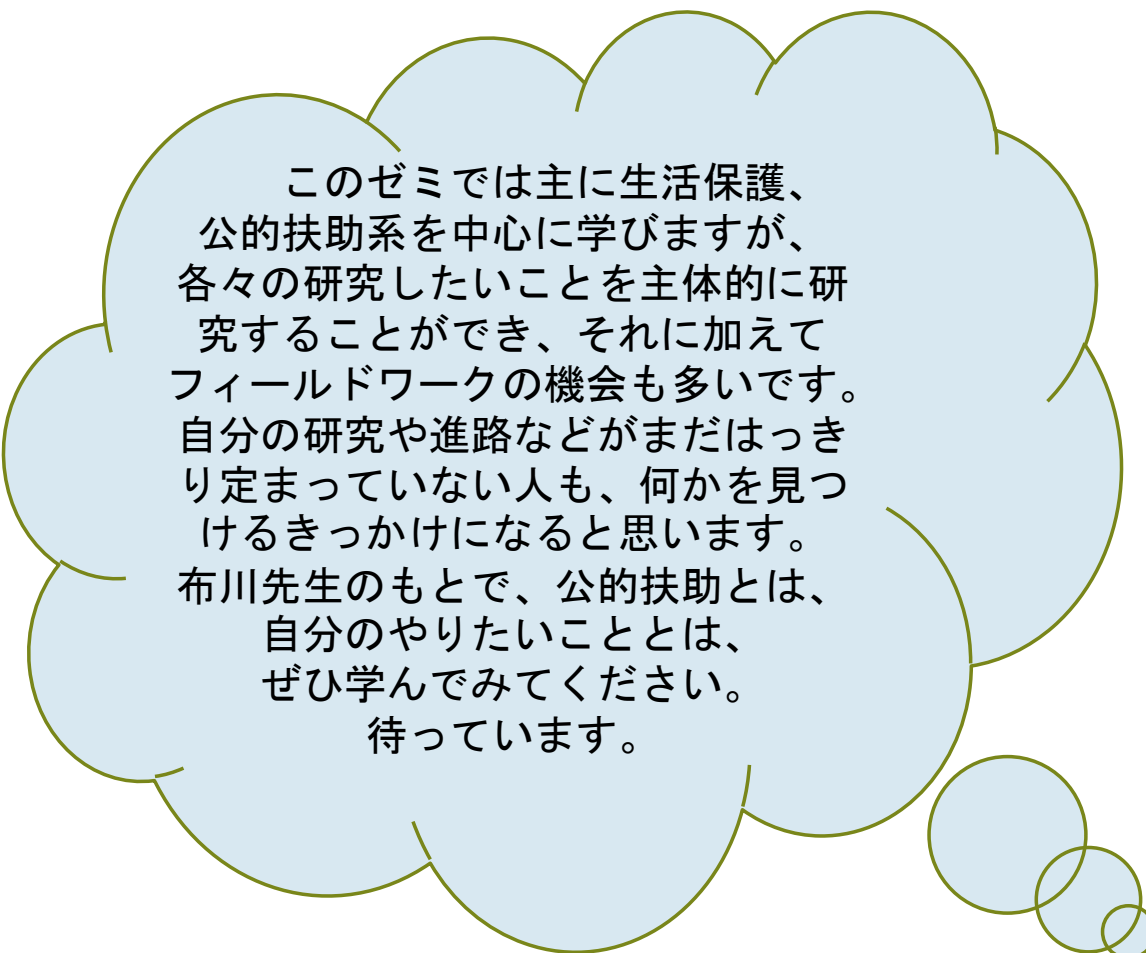


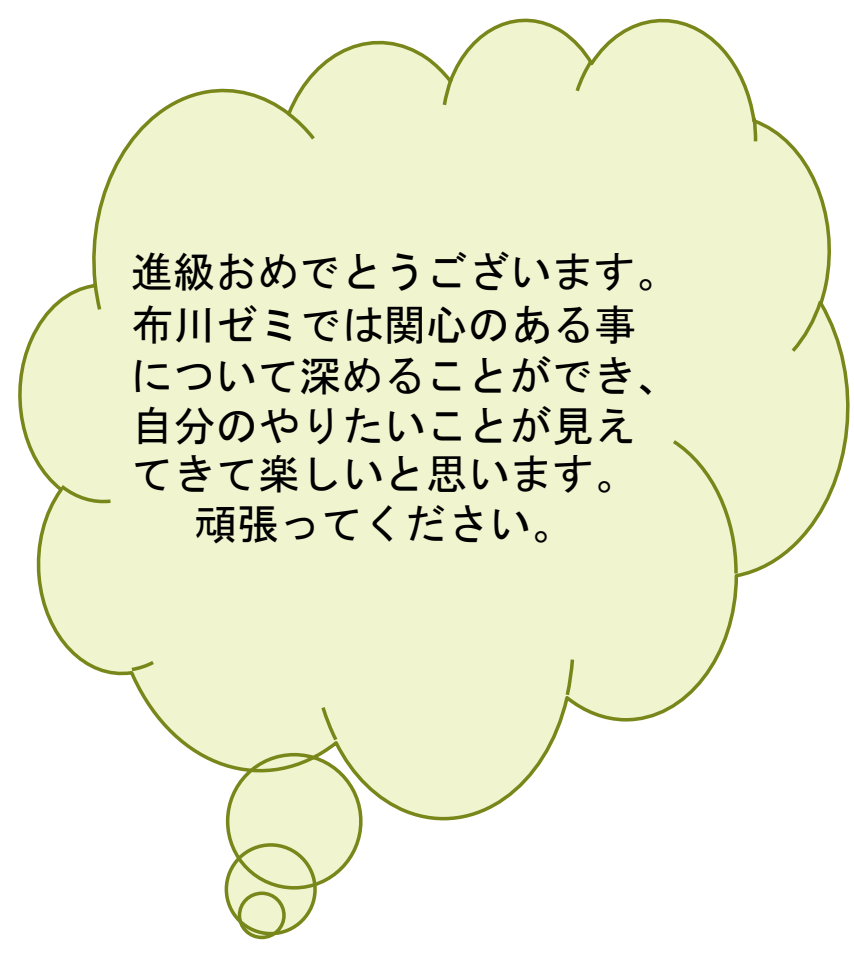
布川ゼミ紹介

貧困と生活保護について考える



このゼミでは主に生活保護、
公的扶助系を中心に学びますが、
各々の研究したいことを主体的に研
究することができ、それに加えて
フィールドワークの機会も多いです。
自分の研究や進路などがまだはっき
り定まっていない人も、何かを見つ
けるきっかけになるとと思います。
布川先生のもとで、公的扶助とは、
自分のやりたいこととは、
ぜひ学んでみてください。
待っています。

3年 千穂



進級おめでとうございます。
布川ゼミでは関心のある事
について深めることができ、
自分のやりたいことが見え
てきて楽しいと思います。
頑張ってください。

3年 安曇

ゼミでは、何を、どう学ぶか

1 貧困は拡大している 子どもの貧困、シングルマザーの貧困、高齢者の貧困

新型コロナの影響で収入が途絶えた人の急増（**New**）

2 生活保護の役割・意義 命、家族を救う。生活と自律・尊厳を保障する。

3 生活保護の課題と問題点

誤解や偏見、受給者バッシング

4 学び方 ①資料・文献をもとに、課題と問題点を明かにする。

②支援の現場から学ぶ

- ・ 仕事と住まいを失った人への支援の現場から学ぶ
- ・ 生活保護を受けて暮らしている人への地域生活支援の現場から学ぶ
- ・ 生活保護ケースワーカーの先輩から、世帯の実際と支援について学ぶ

5 ゼミでは①みんなで問題解決・改善の方向性を探る

②それを通して各自が自分のテーマを見つけていく

1 貧困は拡大している



新型コロナの影響で、収入が減り、生活が成り立たなくなった人たちが急増。
失業と貧困の深刻化へどう対応するか？



2 生活保護の役割・意義の大きさ / 3 抱える課題

利用者の声から 鈴木さん（仮名）／6歳女兒と暮らすシングルマザー、生活保護を2014年から利用している。

■経緯

2014年1月、子どもが生まれたばかりのとき、元夫のDVから避難するため東北地方の実家へ。その後、関東のシェルターに避難（同年4～7月）。

シェルターで暮らしているときに、公営住宅があたり、それをきっかけに生活保護申請。申請にはシェルターを運営するNPOの人も同行。

2014年7月から公営住宅で暮らし、生活保護を受けているが、初めの半年ほどはDVのことが怖くて外に出られない状況。

メンタルクリニックにも通う（うつ、PTSD）、精神保健福祉手帳3級を取得。翌年、子どもを保育園に通わせるため、休みやすい仕事をみつける。

■今の生活

生活保護を受けたことをきっかけに、「つながるカフェ」、「シングルマザーズふぉーらむ」、「DV被害支援団体」、「フードバンク」、「もやい」、そのほかにも子ども食堂や様々な支援団体、個人とのたくさんのつながりの中で暮らせることで、「人に優しくできる生活を送れている」と感じている。子どもにも習い事をさせられる。子どものためのお金も貯金できている。

■生活保護について

利用前の精神的にボロボロだったときの立ち直りに必要だったと感じている。

しかし、利用していることに罪悪感がある。「周囲に知られるとここではもう生きていけない・子どもがいじめられるかもしれない」という恐怖もある。そのため、生活保護を利用していることは周囲には気づかれないようにしている。

■今後

いずれは利用しなくてもいい生活にしたいが、今年の4月から子どもが小学生。どれくらい費用がかかるか心配。

そのため、子どもが落ち着くまでは、自分自身も社会保険がきちんとある職場で働けるようになるまでは、生活保護のお世話になりたい。

生活保護の利用をやめてもまた戻ってくる人の悲惨な話を多く聞くので。生活保護はなくてはならない制度だと思うけれど、複雑な気持ち。

4 ① 仕事と住まいを失った人への支援の現場から学ぶ

- ・「NPO法人 もやい」で学ぶ セミナー参加、支援体験

<https://www.npomoyai.or.jp/>



〈もやい〉は「日本の貧困問題を社会的に解決する」というミッションのもと活動してきた。貧困を「経済的な貧困」と「つながり（人間関係）の貧困」という二つの視点でとらえ、その解決を目指している。

〈もやい〉を訪れる人はさまざま。

ネットカフェに泊まりながら派遣で働く若者や、パートナーのDVから避難してきた女性、低年金・無年金の高齢者、刑務所から出所後住まいがなくて困っている人、障害があって働けず実家にいるものの両親と折り合いが悪く、なんとか実家を出たいという人、生活保護でいったん施設に入ったままなかなかアパートに入居できずにいる人……。

〈どんな支援をしているの？〉



4 ② 生活保護を受けて暮らしている人への 地域生活支援の現場から学ぶ

「つくろい東京ファンド」で学ぶ

見学、支援体験

<https://tsukuroi.tokyo/about/>

一般社団法人つくろい東京ファンドは、2014年6月、
「市民の力でセーフティネットのほころびを修繕しよう！」
を合言葉に、設立されました。

では、セーフティネットに開いている穴の正体は何なので
しょうか？
私たちは、行政の支援策に「ハウジングファースト」という
観点が抜けているのが問題だと考えました。

〈「ハウジングファースト」とはどんな支援？〉



「つくろいハウス」物資カンパのお願い

お知らせ 2019.04.29



【カフェ潮の路】オープンから2年！お福わけ券は1500枚突破へ

お知らせ 2019.04.23



「今更、行き場のない人」を誰一人、路頭に迷わせないため
団体の枠を超えた基金を作りたい！



誰も路頭に迷わせない東京へ！「東京アンブレラ基金」設立にご協力を！

お知らせ 2019.04.01



12月13日（木）つくろいボランティア募集
セミナー@カフェ潮の路

お知らせ 2018.12.04

4 ③ 生活保護ケースワーカーの先輩から、 生活保護世帯の実際と現場の支援について学ぶ

2018年フジテレビ
「健康で文化的な最低限の生活」
新人ケースワーカーが、生活
保護利用者の“人生の困難”に
寄り添い奮闘する成長物語！



ゼミでは、
このドラマのモデルになった
ケースワーカーの人たちや
ゼミの先輩を招き、または訪問します。

福祉事務所の仕事の実際や、
生活保護利用者の人たちの抱える課題、
支援の実際について、学びます。

5 ゼミの進め方

ゼミでは、みんなで現状の理解と、改善の方向性を探ります。

それを通して各自が自分のテーマを見つけていきます。

ゼミの諸行事は、学年ごとで、
みんなの企画で合意のもとに進めます。

BBQやゼミ旅行、季節ごとの催しなど
積極的に企画してください。

ゼミのOB/OGたちは、みんなと会う
ことを楽しみにしてくれています。
交流の機会を持ちましょう。



2017年韓国研修旅行
(ソウル)



布川日佐史

群馬県館林出身、京都で学生生活、静岡大学に勤務し、2013年から法政へ。
2018年度はベルリンに海外留学。ドイツ生活を満喫し帰国。
長女、次女は既に結婚。三女が6月に結婚(式ができるか心配)。
今は奥さんと二人暮らし。週末のドライブとボランティア活動を再開。

- 担当授業： 公的扶助論、福祉国家論、雇用政策論
- 研究課題： 雇用政策と公的扶助の交錯領域の日独比較
就労可能だけれども仕事に就けない人への生活保障と
就労支援がどのように展開してきたか、日本とドイツ
を比較して検討している。
- 研究業績： 吉永・布川・加美『現代の貧困と公的扶助—低所得者に対する
支援と生活保護制度』（2016年）
布川『生活保護の論点』（2009年）
H.Fukawa, W.Hanesch "Das Letzte Netz Sozialer Sicherung
in der Bewahrung"(2012) 他